

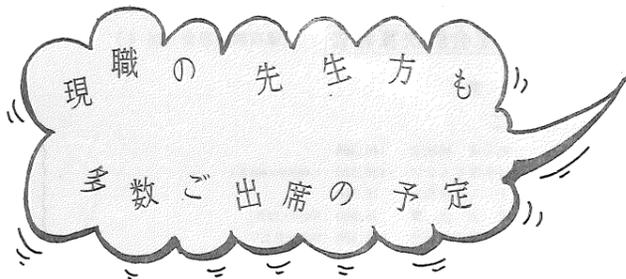
第 16 号
編集発所
武蔵野市境 4-13-28
都立武蔵高校
同窓会編集委員会
電話 武蔵野(51)4554
印刷所 (株) 柗木印刷
武蔵野市境 1-22-8

同窓会 総会は5月10日 (第2日曜日)

会場：母校1階会議室
時間：午後12時半～4時
会食：午後2時半～ (会議室)
会費：500円 (今年卒業の新会員は無料)

特別企画 『なつかしい先生の室』

談笑できるお部屋を用意します



あ
い
さ
つ



さわやかな緑の季節となりました。未だ武蔵野の面影をとどめた美しい恵まれた自然環境に毎日接することができ幸せです。
私は多摩湖に近い前任校都立東大和高校から本年一月一日付で前

教頭高橋茂先生の後任としてまいりました。四十数年の輝かしい伝統ある名門校に着任し責任の重大さを痛感しております。私が府立中学に入学した頃創設された本校戦中、戦後の混乱期、学制改革のさなかで学校生活を送られた同窓生の皆さんや教職員の方々のご苦労を思う時、命を大切に真実を見つめることの大切さと母校愛の精神を培うべく懸命に努力すること、私が私達職員に荷せられた仕事であ

教頭 金沢栄祐

ると思えます。怒の精神、おもいやりのある心を育て、明るい地域社会の発展と若者の溢れる情熱をいかに「生きがい」に結びつけるかということが教育課題であると思えます。同窓生の皆さんの行動と励ましが在校生徒達にとってのよい刺激となり目標達成への奮気の一助となるようご活躍をお祈り致します。時には母校を訪れ元気な様子をみせてください。よろしく

試練期を迎えた同窓会

会長 若井 博

風がおる五月——若葉のやわらかな緑が目に見える頃ともなれば、今年も同窓会総会の時期がやってきました。多くのみなさんの参加をお待ちします。
四百余人の新しい会員を迎え、同窓会も一万余千人を擁する大きな組織となりましたことは、まことに喜ばしいことであり、また各界で活躍される会員諸氏のごを耳にするにつけ、非常に頼もしく思っています。

会の業務は、母校当局、顧問団の先生方の配慮と会役員のみならずの協力とに支えられて、今日まで大過なく運営されてきたところです。とりわけ、毎年、恒例的に開催される総会と機関紙「同窓会むさし」の発行とは近隣の同窓会にその例を見ないものとして、注目され、好評を博しています。さらに、会員名簿の発行も、重要な業務として位置づけ作成に当り今年度は、その発行予定年度として、現在、最終の調整作業に入っているところだ。

ところが、昨今の社会情勢の影響は、同窓会業務の上にも重く、厳しいのしかかってきました。運営

を一般会計として執行することを避け、会費の70%に相当する額を特別な事業を行う際の資金として、特別会計に積み立て、一定の額(別掲)を持つに至りました。ここ数年は、この積み立て金の利子を一般会計に繰り入れることで、運営に支障をきたさない配慮を講じてきましたが、会員数の増加、諸物価の上昇など諸般の情勢変化は、この利子繰り入れだけでは、会の運営に十分対応できないところまで追いつめられてきました。

そこで、役員会では、今後の会の運営経費のあり方、総会の持ち方、機関紙発行の方法などの見直し、改善策を検討しているところです。

苦しい状況の中で開かれる今年の総会ですが、ぜひ、多くの方々が参加され、暫し、旧交を温め合う場として、また、会の今後について共に考え合う場としていただきたいと願ってやみません。

転退職の先生方

- 転退された方
秦友司主事(一般用務)→御退職
吉田嘉寿(非常勤)御退職
- 転入された方
奥森照男主事(一般用務)
都立杉並工高より
原沢修子主事(一般事務)
都立豊多摩高より
秦友司(非常勤)
- 途中転任された方
高橋茂教頭 → 都立杉並高校校長
- 途中転入された方
金沢栄祐教頭 → 都立東大和高校より

私の感じたこと

都立杉並高校校長 高橋

茂(前教頭)

五年に満たない期間でしたが、あれは集中豪雨的に取り組む良さもあると思えます。
一方、着任早々に「諸君は育ちの良い生徒で、素質にも恵まれていたいただき、何とか勤務できたことに感謝しています。」
思い出せば、音楽祭等に合唱コンクールの熱心な練習、従って当日のすばらしいできばえ、文化祭で真剣に取り組む人たちが、体育祭の創作野外舞踊等もすばらしい。スキー教室は湯沢と志賀高原に付添い、富士見高原の体育系合宿には毎年参加しました。教頭としてPTA活動や、個々の生徒の大きな問題にはほとんど何らかの形で関与しました。苦あれば楽ありですべて良い経験になりました。

武蔵の伝統は思いやりのある事だといわれますが、更に、問題が

あれば集中豪雨的に取り組む良さもあると思えます。
一方、着任早々に「諸君は育ちの良い生徒で、素質にも恵まれていたいただき、何とか勤務できたことに感謝しています。」
思い出せば、音楽祭等に合唱コンクールの熱心な練習、従って当日のすばらしいできばえ、文化祭で真剣に取り組む人たちが、体育祭の創作野外舞踊等もすばらしい。スキー教室は湯沢と志賀高原に付添い、富士見高原の体育系合宿には毎年参加しました。教頭としてPTA活動や、個々の生徒の大きな問題にはほとんど何らかの形で関与しました。苦あれば楽ありですべて良い経験になりました。

武蔵の伝統は思いやりのある事だといわれますが、更に、問題が

はするけれど、泥くさい頑張りがないと感じました。しかし私の独り合点の勘違いでしょうか。
有能でベテラン揃い、教科指導等では何処に出しても負けない自信満々の先生方が多いのにもかかわらず、我武者羅に食いつき、飛び込んで来る生徒をあまり見かけなかったのは、実に惜しい。昔は知らないが、在任中に感じました。温和な、大器晩成の人たちが多いのでしよう。また「天才は2%のインスピレーションと98%のパーシステーションの努力の賜物である」という。武蔵の卒業生はやればできる力を持っているのだから、自ら安易な定着をすることを排して頑張してほしい。

